



2019年5月14日

各 位

上場会社名 加 賀 電 子 株 式 会 社  
 コード番号 8 1 5 4 東 証 第 一 部  
 本社所在地 東京都千代田区神田松永町20番地  
 代表者の 代表取締役社長 門 良 一  
 役 職 氏 名  
 問 合 せ 先 常務取締役管理本部長 川 村 英 治  
 T E L 0 3 - 5 6 5 7 - 0 1 1 1

## 通期連結業績予想値と実績値との差異および剰余金の配当に関するお知らせ

2019年2月6日に公表しました2019年3月期の通期連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします

また、本日開催の取締役会において、2019年3月31日を基準日とする剰余金の配当を下記の通り修正することを決定いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 2019年3月期 通期連結業績予想値と実績値との差異 (2018年4月1日～2019年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 予 想 ( A ) (2019年2月6日発表)	290,000	7,700	8,000	7,300	266.04
今 回 実 績 値 ( B )	292,779	7,570	7,859	8,014	292.07
増 減 額 ( A - B )	2,779	△129	△140	714	—
増 減 率 ( % )	1.0	△1.7	△1.8	9.8	—
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	235,921	8,119	8,740	6,490	236.58

#### <理由>

当連結会計年度における当社グループの通期連結業績につきましては、主力事業であるEMSビジネス（電子機器の受託製造サービス）や半導体・電子部品の販売が堅調に推移し、本年1月より、株式取得を通して新たに連結対象に加わった富士通エレクトロニクス株式会社の業績も順調な進捗となったことから、売上高から経常利益までは概ね前回予想通りに推移いたしました。一方、当期純利益につきましては、上述の株式取得に伴う「負ののれん代」の特別利益計上や連結納税制度の影響による法人税負担の減少などにより前回予想を上回りました。

なお、当期純利益80億14百万円は、これまで過去最高であった2006年3月期の72億72百万円を上回り13期ぶりの最高益更新となります。

## 2. 剰余金の配当について

	決 定 額	直近の配当予想 (2019年2月6日公表)	前期実績 (2018年3月期)
基準日	2019年3月31日	同 左	2018年3月31日
1株当たり 配当金	45円00銭 (普通配当40円00銭) (特別配当5円00銭)	40円00銭	40円00銭 (普通配当35円00銭) (特別配当5円00銭)
配当金総額	1,235百万円	—	1,097百万円
効力発生日	2019年6月28日	—	2018年6月29日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

### <理由>

当社は、株主に対する利益の還元を経営上重要な施策の一つとして位置づけ、長期的視点に立った財務体質と経営基盤の強化に努めるとともに、連結業績に鑑みながら株主の皆様に対する安定的かつ継続的な配当の維持を基本方針としております。

この基本方針に基づき、中期経営計画2021では、「連結配当性向25%~35%を確保しつつ安定的な配当を実施していく」ことを目標としております。

当期末の配当金につきましては、今回の連結業績の実績を踏まえ、期初予想の1株当たり40円に特別配当金5円を加えまして1株当たり45円に増額いたします。これにより、中間配当金1株当たり35円と合わせた年間配当金は、前期より10円増配の1株当たり80円となります。

なお、本件につきましては、本年6月27日開催予定の第51回定時株主総会に付議する予定であります。

### (参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
当期実績 (2019年3月期)	35円00銭 (普通配当30円00銭) (記念配当5円00銭)	45円00銭 (普通配当40円00銭) (特別配当5円00銭)	80円00銭 (普通配当70円00銭) (記念配当5円00銭) (特別配当5円00銭)
前期実績 (2018年3月期)	30円00銭 (普通配当25円00銭) (特別配当5円00銭)	40円00銭 (普通配当35円00銭) (特別配当5円00銭)	70円00銭 (普通配当60円00銭) (特別配当10円00銭)

以 上